

東雲(しののめ)

vol.31(271)

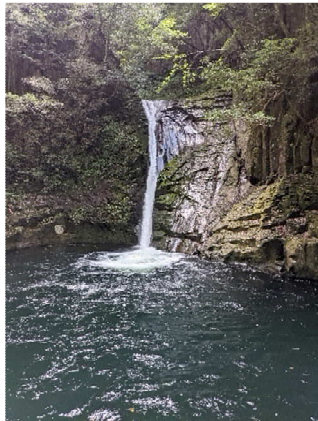
10月に入っても日中は強い日差しを受けますが、夕方になると涼しい風が吹き、一枚上に羽織るものが欲しいと思ってしまいます。しかし秋分の日も過ぎて、日没の時間も早くなりました。塾の前では、9月の終わりに咲くひまわりの種を夏休み中に植えたせい(?)で、夏の雰囲気が残っていますけど・・・このひまわりが終わったら次は何を植えようか?ただいま思案中です。



いきなり季節外れのひまわりの写真でスタートした今月のお手紙ですが、10月は秋の季節です。ところで最近では、あまり聞くことのなくなった童謡『ちいさい秋』って歌は知っていますか?

誰かさんが 誰かさんが 誰かさんが 見つけた
ちいさい秋 ちいさい秋 ちいさい秋 見つけた

「ちいさい秋」って、おもしろい言い方だと思いませんか? この歌で歌われている「秋」は、なんとなくですが木々が紅葉に彩られて、誰にでもはっきりとわかるような秋のまただ中の様子ではないようです。もう秋になったのか、それともまだならないのか、よくわからないような、そんな時期の様子でしょうか。



わが国は、四季の移り変わりがはっきりしていて、豊かな自然に囲まれていると言われます。みなさんの学校生活が忙しい時期を迎えるこの時期だからこそ、朝、登校するときや下校する途中で、ぜひ通学路や校庭の草花の様子、雲の動きなどに目を向ける余裕を持ってください。ただ、車には注意しましょう。

そんな心の余裕を持つことができれば、きっと他人に対しても、余裕を持って、優しく接することができるようになるはずですから。みなさん一人ひとりの「ちいさい秋」を見つけられたら素敵だとは思いませんか?

例えば、私事ではありますが、先日こんな経験がありました。先日、塾がお休みのとき気分転換を兼ねて閑散とした山へ少し足を延ばしてみました。山の中を歩いていると足元にきれいな落ち葉が目にとまりました。

誰が染めたのでしょうか。誰が置いたのでしょうか。

自然は不思議で、美しい。

人の手による芸術もあれば、大自然が創り出す芸術もあります。大自然の中には雄大な景色もあれば、色鮮やかな動物もいます。小さな花の清々しい香りや心落ち着く虫の音もあります。ふと、『ちいさい秋』のメロディーが頭の中に流れた瞬間でした。



